

# 国語

## 情報を見極めよう

3年4組

授業者 阿萬野 純子・飯田 保奈

### ■ 単元の目標

- 映像には送り手の意志があることを知り、情報との関わり方を考えることができる。
- 送り手として、映像にある意志を持たせ、言葉にして発信することができる。

### ■ I C T 活用の視点

#### ○ 思考を促す道具としての ICT の活用

あるテーマに沿った五枚の映像の連写をプロジェクタで投影する。そこに、送り手としてどんな具体的なテーマを見出し、メッセージを発信するのかを考えさせる。

#### ○ 創造性を促す道具としての ICT の活用

五枚の映像に一つのメッセージをつけるとき、スタディノートを活用する。スタディノートは映像を取り込み、その順番を簡単に変えることができる。映像の配列の仕方でメッセージは変わってくることも創作意欲や創造性を促すこととなる。

#### ○ 本時における ICT 機器の位置づけ

本単元は、メディアの意志や映像の本質を考えさせる單元である。実際に映像を見ながら、そのメッセージ性を考えることは学習の意欲づけに有効であると考える。本時は、あるテーマに沿った五枚の映像の連写を三組、プロジェクターで投影する。そこに、送り手としてどんな意志を持たせメッセージを発信できるかを考える。

### ■ 本時の授業の概要

「映像の本質とは意志の塊である」という教材の主旨を確かめるために、同じ映像に幾つかのグループがメッセージをつけるという活動を行う。同じ五枚の映像であっても並ぶ順番や意志によってメッセージが幾通りもできることを確かめ合いたい。

学習活動	指導上の留意点
1. 本時の学習課題を確認する。  映像を使ってメッセージをつくろう。	
2. グループを作り、三組の映像から一組を選ぶ。  おおまかに捉えたテーマの中に、具体性を持ったメッセージを作ることを意識させたい。 三つのテーマをバランスよくグループに振り分けられるよう配慮する。	
3. 選んだテーマの映像にメッセージをつける。  (1) ワークシートに、思いつくことをメモしていく。(個人) 五枚の写真を印刷したワークシートを準備する。  (2) ワークシートを持ち寄って、一組五枚の映像からどんなメッセージを発信することができるか、グループで話し合う。(ワークシート)  どんな印象を持つか、何を連想するか等、映像から広がる思いを言葉にするよう支援する。	メッセージは200字以内とする。
4. スタディノートに五枚の映像を取り込み、決めた順番に並べ替え、USBにコピーする。  写真の順番を入れ変えることでも違うメッセージが生まれることに気づかせ、創作意欲や創造性を促したい。 その際、教材に紹介されていた様々な撮影技法による効果や意思表示も考え合わせ、映像の本質について考えを深めるようにしたい。	
5. 発表の練習をする。	発表は次時に、USBからプロジェクタで投影しながら行うことを確認する。